

經 濟 学 部

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	必修科目					
5101	演習 I	1	必	4	松山昌司	
5102					水谷重秋	
5103					森茂也	
5104					村松久良光	
5105					末重正行	
5106					須磨千穎	
5107					田原昭四	
5108					程島次郎	
5109					近藤仁	
5110					松繁寿和	
5111					林尚志	
5251	経済原論 I (ミクロ経済学)	2	必	4	花井敏仁	前期
5252					近藤仁	前期
5255	経済原論 II (マクロ経済学)	2	必	4	村松久良光	後期
5256					荒井好和	後期
5201	演習 II	2	必	4	花井敏	
5202					村松久良光	
5203					櫻井健吾	
5204					杉山俊治	
5205					程島次郎	
5206					家本博一	
5207					大谷津晴夫	
5208					渡邊頼純	
5209					山田正次	
5210					松繁寿和	
5211					林尚志	
5301	演習 III	3	必	4	花井敏	
5302					松山昌司	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5303	演 習 III	3	必	4	水 谷 重 秋	
5304					村 松 久良光	
5305					織 田 重 治	
5306					櫻 井 健 吾	
5307					末 重 正 行	
5308					杉 山 俊 治	
5309					須 磨 千 穎	
5310					田 原 昭 四	
5311					荒 井 好 和	
5312					近 藤 仁	
5313					中 矢 俊 博	
5314					大谷津 晴 夫	
5315					渡 邊 頼 純	
5316					山 田 正 次	
5401	演習IVおよび卒業論文	4	必	4	花 井 敏	
5402					松 山 昌 司	
5403					水 谷 重 秋	
5404					森 茂 也	
5405					村 松 久良光	
5406					織 田 重 治	
5407					櫻 井 健 吾	
5408					末 重 正 行	
5409					杉 山 俊 治	
5410					須 磨 千 穎	
5411					田 原 昭 四	
5412					荒 井 好 和	
5413					近 藤 仁	
5414					中 矢 俊 博	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5415 5416	演習Ⅳおよび卒業論文	4	必	4	渡 邊 頼 純 山 田 正 次	
	選 択 科 目					
	經 済 学 科 目					
5591	經 済 数 学	2・3・4	選	4	皆 川 正	毎年
5506	經 済 統 計 学	2・3・4	選	4	程 島 次 郎	隔年(本年度休講)
5541	經 済 政 策 論	2・3・4	選	4	杉 山 俊 治	毎年
5561	經 済 史 総 論	2・3・4	選	4	櫻 井 健 吾 須 磨 千 穎	毎年
5584	經 済 思 想 史	2・3・4	選	4	橋 本 昭 一	毎年
	【經 済 理 論】					
5501	經 済 学 史	3・4	選	4	森 茂 也	
5502	計 量 經 済 学	3・4	選	4	近 藤 仁	隔年
5503	經 済 変 動 論	3・4	選	4	田 原 昭 四	毎年
5504	厚 生 經 済 学	3・4	選	4	水 谷 重 秋	隔年
5505	数 理 經 済 学	3・4	選	4		隔年(本年度休講)
5507	日 本 經 済 論	3・4	選	4	花 井 敏	隔年(本年度休講)
5508	近 代 經 済 学 史	3・4	選	4	中 矢 俊 博	隔年
	經 済 理 論 特 殊 講 義					
5511	「企業金融の理論」	3・4	選	4	倉 澤 資 成	夏期集中
5512	「日本の経済と市場」	3・4	選	4	宮 崎 元	夏期集中
	【国 際 經 済 学】					
5521	国 際 經 済 学	3・4	選	4	山 田 正 次	毎年
5522	地 域 經 済 論	3・4	選	4	松 繁 寿 和	隔年
5523	開 発 經 済 学	3・4	選	4	林 尚 志	隔年
5524	国 際 金 融 論	3・4	選	4	荒 井 好 和	隔年(本年度休講)
5525	国 際 經 済 関 係 論	3・4	選	4	織 田 重 治	毎年

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5526	国際政治経済論 国際経済学特殊講義	3・4	選	4	渡邊 頼 純	隔年(本年度休講)
5527	「外国為替と国際金融」	3・4	選	4	堀 晃 明	
5529	「E C 経済論」 【経済政策】	3・4	選	4	渡邊 頼 純	
5542	財 政 学	3・4	選	4	末 重 正 行	毎年
5543	金 融 論	3・4	選	4	荒 井 好 和	毎年
5544	社 会 保 障 論	3・4	選	4	大谷津 晴 夫	隔年(本年度休講)
5545	産 業 組 織 論	3・4	選	4	上 田 薫	本年度休講
5546	労 働 経 済 学 経済政策特殊講義	3・4	選	4	村 松 久良光	隔年
5547	「福祉国家論」 【経済史】	3・4	選	4	大谷津 晴 夫	
5562	日 本 経 済 史	3・4	選	4	須 磨 千 穎	毎年
5563	西 洋 経 済 史 【価値の経済学】	3・4	選	4	櫻 井 健 吾	隔年
5581	経 済 倫 理 学	3・4	選	4		本年度休講
5582	経 済 学 方 法 論	3・4	選	4	松 山 昌 司	隔年(本年度休講)
5583	経 済 社 会 哲 学	3・4	選	4		本年度休講
5585	経 済 体 制 論 価値の経済学特殊講義	3・4	選	4	家 本 博 一	隔年
5586	「体制転換の政治経済学」 経済学外国語科目	3・4	選	4	福 田 敏 浩	夏期集中
5621	経済学英語講義 「ピアオで学ぶ経済英語」	2・3・4	選	4	花 井 敏	
5622	経済学英語講義 「Introduction to International Political Economy」	2・3・4	選	4	渡 邊 頼 純	

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5623	経済学英語講義 「Economics Lecture」	2・3・4	選	4	S. Prue	
5601	外書講読（英書）	2・3・4	選	4	松山昌司	
5602	外書講読（英書）	2・3・4	選	4	皆川正	
5603	外書講読（英書）	2・3・4	選	4	程島次郎	
5615	外書講読（仏書）	2・3・4	選	4	渡邊頼純	
5616	外書講読（独書）	2・3・4	選	2	大谷津晴夫	
5550 5551	時事英語 1, 2	2・3・4	選	4	廣田里子	
5661	ビジネス英語	2・3・4	選	4	奥野賢造	
5662	ビジネス英語	2・3・4	選	4	S. Prue	
5663	ビジネス英語	2・3・4	選	4	N. Carroll	前期（週2回）
	関連科目					
5811 5812	会計原理 1, 2	1・2・3・4	選	4	白木俊彦	毎年
5821	財務会計論	2・3・4	選	4	藤井達敬	
6104	経営学総論	2・3・4	選	4	岸田民樹	前期+夏期集中
6201	経営組織論	2・3・4	選	4	渡邊直登	
5841	オペレーションズ・ リサーチ概論Ⅰ	2・3・4	選	2	澤木勝茂	前期
5842	オペレーションズ・ リサーチ概論Ⅱ	2・3・4	選	2	澤木勝茂	後期
6116	経営労務論 1	2・3・4	選	4	藤原道夫	
6117	経営労務論 2	2・3・4	選	4	大津誠	前期（週2回）
6131	経営財務論 1	3・4	選	4	飯原慶雄	
6132	経営財務論 2（英語）	3・4	選	4	M. Bremer	後期（週2回）
6136	マーケティング論	3・4	選	4	中田善啓	隔週
6121	経営史	3・4	選	4	和田一夫	
6126	企業論	3・4	選	4	成生達彦	
6305 6306	情報処理概論 （Basic）1, 2	3・4	選	4	村本正生	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
6307	情報処理概論 (Fortran)	3・4	選	4	井垣伸子	夏期集中
6308	情報処理概論 (Cobol)	3・4	選	4	山田進	
6309	情報処理概論 (Pascal)	3・4	選	4	村本正生	
6304	計算機概論	3・4	選	4	穴太克則	本年度休講
5835	民法 I 1	2・3・4	選	4	柳澤秀吉	
5836	民法 I 2	2・3・4	選	4	本城武雄	
5871	行政法	3・4	選	4	市橋克哉	
5845	民法 II	3・4	選	4	松倉耕作	
5851	商法 I	3・4	選	4	篠田四郎	
5855	商法 II	3・4	選	4	篠田四郎	
5861	労働法	3・4	選	4	平川亮一	
5865	経済法	3・4	選	4		本年度休講
	自由科目					
	現代産業事情					
5881 5882	「損害保険事情」	3・4	自	2	並木友	前期 後期
5883 5884	「総合商社事情」	3・4	自	2	奥野賢造	前期 後期
5885 5886	「自動車産業事情」	3・4	自	2	榎本幸一	前期 後期
5887 5888	「電機産業事情」	3・4	自	2	若林直樹	前期 後期
5889 5890	「都市銀行事情」	3・4	自	2	高木夏樹	前期 後期
1803	日本史概説	3・4	自	4	新井喜久夫	
1804	世界史概説	3・4	自	4	R. Szippel	
1834	法学概論	3・4	自	4	岡田泉樹 中舎寛	前期 後期

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
6901 6902	職業指導	3・4	自	4	藤原道夫 大津誠	「経営労務論」で 充当 「経営労務論」で 充当
	随意科目					
5901	経済原論演習 (経済原論Ⅰ) ₁	2・3・4	随	2	中川裕司	前期
5902	経済原論演習 (経済原論Ⅰ) ₂	2・3・4	随	2	藤本正富	前期
5911	経済原論演習 (経済原論Ⅱ) ₁	2・3・4	随	2	中川裕司	後期
5912	経済原論演習 (経済原論Ⅱ) ₂	2・3・4	随	2	藤本正富	後期

経済学部関係科目

講義概要

- 5101 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 松山 昌司
経済研究は社会研究の一環である。社会研究は本質的に私たち自身と変りのない他人どうしの“つきあい”への関心である。この関心は、他人なしには生きてゆくことのできない私自身の他人への関心に支えられている。社会を知ることと私を知ることと不可分であると思う。適当なテキスト(未定、但し、たとえば、千石保『“まじめ”の崩壊』サイマル出版)を使用して、遠くにみえる社会経済現象と私とのつながりを発見し、社会研究、経済研究への途を拓きたい。
- 5102 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 水谷 重秋
経済学研究の基礎
演習テーマ：①「日本語の書き方」と「論文の書き方」の学習
②社会・経済問題の研究
テキスト：①本田勝一『日本語の作文技術』(朝日文庫、1976)
②木下是雄『レポートの組み立て方』(筑摩書房、1991)
③各種新聞
※参考文献はその都度紹介する。
演習内容：①日本語の書き方と論文の書き方を学びつつ、②日々の社会・経済問題について議論し、③ゼミの最後に修了論文を提出する。
演習の進め方：毎週、ゼミの半分を上①に当て、残りを②に当てる。①も②もグループごとに責任をもたせ、報告させる。
- 5103 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 森 茂也
メインテーマを「環境と人間」とし、環境・資源・貧困・開発・成長・宇宙などに関する現代の経済・社会思想について、4つのグループに分かれ、順番に研究を発表し討論する。
なお全員が発表グループと関係なくこれらの経済思想を対象に、指示に従って「研究レポート」、そして書評および感想文を提出。論文の書き方は指導する。夏には正課の一環として4泊5日の合宿を行う。
- 5104 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 村松 久良光
現代日本経済入門
経済学を学ぶにさいして、ダイナミックに変動している現代の日本経済を分析の

対象として選び、問題関心を高めることをねらいとする。

ゼミのやり方：関心のあるテーマごとに3、4人のチームを編成し、グループ討論、資料収集、発表そして修了論文にまとめる。夏期の書評もテーマに沿った本を選ぶ。

テキスト：『ゼミナール日本経済入門』（日本経済新聞社、最新版）

資料：『日本経済新聞』他

合宿：夏期に2泊3日。チーム発表を行う。

5105 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 末重正行
日本経済の問題を個別にとりあげ、経済の実態と経済の理論的理解ができるようにしたい。

5106 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 須磨千穎
『御触書集成』『徳川禁令考』などの中から必要な史料を選択し、テーマ別に編集した史料集をテキストとして使用する。個別のテーマは「享保期の諸問題」「宝暦～天明期の幕府政治」「寛政改革の経済政策」などで、18世紀における江戸幕府の経済政策を時代相と関連させながら考究することになる。

5107 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 田原昭四
日本経済入門
日本経済の実態を学ぶことによって、その背後にある経済理論の基礎知識と経済学の学び方を習得する。

テキスト：正村公宏『実践ゼミナール日本経済』（東洋経済新報社、1987）

5108 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 程島次郎
現代企業入門
経済学や経営学を学ぶ上で、実際の経済活動や企業経営に関する知識は重要である。しかし、新入生の企業に関する知識は貧しい。この演習では、現代企業の実態を学ぶことにより、経済学や経営学への関心を高め、問題意識を養うことを目的とする。

テキストには、『ゼミナール現代企業入門』（日本経済新聞社、最新版）を使用するが、他に最近の現代企業の実態を伝える資料も利用する。

5109 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 近藤仁
最近の物価の動向や内外価格差あるいは物価安定策についての問題を、ミクロ経済学とその背景にある現実経済との関係から考察する。

また、コンピュータ・プログラミング言語（FORTRAN）を修得し、現実のデー

データを分析する手法を身につける。

テキスト：経済企画庁物価局編『物価レポート'92』（経済企画協会、1992）
プログラミングに関するテキストについては、別途指示する。

5110 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 松 繁 寿 和
経済問題徹底討論

クラスを4人から5人の小グループに分け、1年を通じて一つの問題を討論する。討論はディベートと呼ばれる形式をとり、半分のグループは“現状に賛成”、残りの半分は“改革を行う”という立場に立って議論を組み立て討論を行う。討論ごとに点数をつけ勝敗を決定する。1年で1チームあたり6試合を行う。リサーチの仕方や発表の仕方を特に訓練する。両方の立場を理解したあとで自分の考えをまとめたレポートを提出する。また討論のテーマに関係した本を読み書評を提出する。レポート、書評ともかなり長いが、1年間の議論の後では意外と簡単に書けることに気付くと思う。

90年度は“米の自由化”、91年度は“外国人労働者”、92年度は“出生率の低下”がテーマであった。93年度は“大学教育と就職後の能力”について議論しようと考えている。

合宿は2泊3日を考えている。

5111 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 林 尚 志

「日本の経済協力のあり方」に対する問題意識を深めながら、生きた経済学を学ぼうとする姿勢を養うことをねらいとする。

前半は、小グループ毎に下記テキストの各章を担当。発表を行いながら基礎的知識を習得する。後半はグループを再編成し、グループ別の「現状分析および今後の改革案」をまとめ、対抗討論会を行う。

テキスト：松井謙『国際協力論演習』（晃洋書房、1988）

5201 演習 II (必・2年次・4単位・通年) 花 井 敏

小人数（4、5人ほど）のグループに分け、予め指定した、あるいはグループで選んだ課題について、グループごとに具体的な成果の作成に至るまでのプロセスを学ぶ。

5202 演習 II (必・2年次・4単位・通年) 村 松 久良光
雇用の仕組みに関する国際比較

・日本企業が海外に本格的に進出するにつれて、日本の雇用の仕組みを他国と比較しながら正しく理解し、英語で説明する必要がますます高まってきた。

終身雇用、年功賃金、企業別組合などの雇用慣行が日本の特徴であろうか、とい

う疑問から国際比較をし、技能形成の仕組みに注目する以下の小池和男氏の英語論文集を主に学んでいきたい。

Kazuo Koike, *Understanding Industrial Relations in Modern Japan*, Macmillan Press, 1988.

・ゼミの進め方と評価：時に班学習をするが、ふだんはひとり一文ずつ訳し、全員に当てる。前後期の試験とゼミへの参加度で評価。

・夏期海での合宿、または夏期課題。

5203 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 櫻井健吾
テキスト：N. J. G. Pounds, *The Historical Geography of Europe, 1800-1914*, Cambridge 1985.

5204 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 杉山俊治
下記テキストを用いて、経済政策の基本的な一般理論と、マクロ経済政策（失業、インフレ、経済成長の問題等）について学ぶ。
テキスト：Keith Hartley, *Problems of Economic Policy*, 1986.

5205 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 程島次郎
経済統計学
経済学で統計学がどのように応用されるのかを事例（経済指標、物価指数、失業問題、需要関数の推定等）を通して学んでいく。テキストとして、
① J. M. Tanur et al., *Statistics: A Guide to the Unknown* (3rd ed.), Wadsworth & Brooks, 1989.
② 千田亮吉著『数量経済分析入門』（文真堂）
を用いるが、他に、統計資料を調べたり、コンピュータを使った演習も行う。

5206 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 家本博一
【演習テーマ】
ソ連邦の解体、独立国家共同体（CIS）の創設以降における「脱社会主義」改革——「八月クーデター」の失敗から「エリツィン改革」の軌道修正まで——
目的——ソ連邦の解体（1991年12月）以降におけるロシアの「市場経済化」を題材として、「脱社会主義」を目指す経済体制の抜本的な変革過程を具体的に理解すること。

【テキスト】

- (1) 下斗米伸夫『独立国家共同体への道—ゴルバチョフ時代の終わり』（時事通信社、1992）
- (2) グリゴリー・ヤブリンスキー、EPI（経済政治研究）センター編著（松本幸

重訳)『ロシア・CIS経済の真実』(東洋経済新報社、1992)

【その他】

*受講生の希望が一定数に達すれば、ロシア研修旅行を計画する。

5207 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 大谷津 晴夫

テキスト: OECD, *Ageing Populations: The Social Policy Implications*, 1988.

OECD加盟先進諸国の人口高齢化の動勢とそれに伴う社会政策問題の概要を学ぶ。

テキストはこちらで用意する。

5208 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 渡邊 頼純
経済学を英語で考えよう

Ch. YATES 著 *English For Academic Purposes Series, Economics* を用いて英語で経済学の用語や考え方に親しむことを目的に演習を行なう。

テキストに付いているオーディオ・テープを使用し経済問題の英語による聞きとり能力の向上をはかりたい。

5209 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 山田 正次
国際経済入門

下記のテキストを使い、国際経済の現実を経済学で理解するのを目的とする。

伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』(日本経済新聞社、1989)

5210 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 松繁 寿和
ミクロ・マクロ分析の問題練習

将来、公務員試験、資格試験、大学院受験を考えている人たちに適したゼミ内容にしたい。また、昨年の私の経済学の授業では十分理解できず、疑問をかかえたままの人にはその疑問に答えるような内容にしたい。

<内容、テキスト>

すでに多くの学生が購入している経済学のテキストの章末問題を解くことを中心にする。したがってテキストは特に指定しないが、昨年の経済学で使用した伊藤元重『ミクロ経済学入門』は使用するつもりである。

<試験>

試験は6月、12月と1月の3回おこなう予定。

<合宿>

2泊3日の予定。

5211 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 林 尚志
グループ学習方式、および討論会方式を採り入れながら、1年をかけて“教養の経済学”を楽しくマスターしてしまうことを目標とする。具体的には、

- (1) 三人一組程度で班を組み、当番にあたった班は下記テキストに基づいて出される「その週の問題」を解いてくる。
- (2) 各週、二つの班が当番となる。両班はみんなに問題の解説を行い、その優劣を競う。
- (3) みんなは両班に質問を行って内容に対する理解を深め、前、後期末に行われる試験に備える。

「自主的な学習、わかりやすい発表法、積極的な質問姿勢、そしてチームワーク……これを学びながら教養の経済学もマスターしてしまおう」と考えている学生を歓迎する。

テキスト：伊藤元重著『入門経済学』（日本評論社、1988）

5251 経済原論Ⅰ (必・2年次・4単位・前期) 花井 敏
ミクロ経済学

価格メカニズムを中心とするミクロ経済学の基礎を講義する。

テキストは未定。

中間試験日：5月27日（木）

5252 経済原論Ⅰ (必・2年次・4単位・前期) 近藤 仁
ミクロ経済学

市場における価格決定機構の分析や、消費者・生産者という経済主体の行動の分析についての基礎理論を講義する。

テキスト：多和田真編著『経済学講義』（中央経済社、1991）

中間試験日：5月27日（木）

5255 経済原論Ⅱ (必・2年次・4単位・後期) 村松 久良光
マクロ経済学

実質GNP、失業、インフレなどの決定と変動を扱うマクロ経済学の基本的な理論をテキストに従って講義する。

テキスト：授業は後期なので、7月に指示する。必ず買うこと。

評価：定期試験と、ほぼ週1回行う小テストまたは意見による授業参加度。

中間試験日：11月12日（金）

5256 経済原論Ⅱ (必・2年次・4単位・後期) 荒井好和
マクロ経済学

下記のテキストを用いて、マクロ経済学の基礎知識を修得します。

R. J. ゴードン 永井進訳『現代マクロエコノミクス(上)』(多賀出版、1992)

中間試験日：11月12日(金)

5301 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 花井敏
日本経済に関する最近の諸問題を討議する。今年は、日本の住宅・土地市場について理解を深めるようにしたい。

テキスト：(1) ポズデナ『住宅と土地の経済学』(晃洋書房、1990)

(2) 原田・井上『土地・住宅の経済学』(日本評論社、1991)

5302 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 松山昌司
われわれにとって日常的な資本主義的市場のシステムの意味と限界を、資源や環境の問題に関連させて、かんがえなおしてみる。使用予定テキスト：①加藤尚武『環境倫理学のすすめ』②C. R. ハムフェリー/F.H.バトル『環境・エネルギー・社会』③竹内靖雄『市場の経済思想』

5303 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 水谷重秋
厚生経済学

演習テーマ：公害・環境破壊の政治経済学

テキスト：宮本憲一『環境と開発』(岩波書店、1992)、その他(ゼミ開始後、参考文献：目録を配布する)

演習内容：地球規模の環境破壊、リゾート開発に伴う環境破壊、自動車公害、ゴミ問題などいくつかの公害・環境破壊問題を政治経済学的に分析する。

演習の進め方：①問題ごとにグループを作り、②グループごとに報告させ、③全員で議論させる。

5304 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 村松久良光
労働経済学

・今年度のテーマ：「働きがい、処遇と不満の構造」

「会社人間」や「働き過ぎ」など日本人の働き方が問題にされている。では、現に働いている人はどう思っているのか。このテーマを追いながら、企業内の仕事、査定、昇進、賃金決定の仕組みを学びつつ、3年前に行ったアンケート調査を材料に、SPSSの統計パッケージを用いて分析の手法を学んでいきたい。

・テキスト：『新版 SPSSX 1 基礎編』(図書館の本を利用)

橋木俊昭編『査定・昇進・賃金決定』(有斐閣、1992) その他多数。

- ・ゼミの進め方：3～4人のグループを組んで学習、発表。
- ・合宿：3年の夏と4年になる前の春。2泊3日。
- ・ゼミ生は「労働経済学」を必ず受講すること。「計量経済学」「データ解析」「経営労務論」を受講することが望ましい。
- ・成績評価：ゼミへの参加度と修了論文による。

- 5305 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 織田重治
国際経済関係論
J. Spero, *The Politics of International Economic Relation*, G. Allen & Unwin, 1985 をテキストとして使用、並行して各自の自由選択で地域研究を行う。
- 5306 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 櫻井健吾
西洋経済史
テキスト：リグリー『エネルギーと産業革命』(同文館、1991)
- 5307 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 末重正行
政府部門の経済活動について基礎的理解が得られるよう学習する。
テキスト：スティグリッツ, J. E. (藪下訳)『公共経済学』(下)(マクロウヒル、1989)
井堀利宏『財政学』(新世社、1990)
- 5308 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 杉山俊治
経済政策論
経済基盤、とくに人的基盤(人口)、自然的基盤(資源・環境)にかかわる政策の諸問題について学ぶ。
- 5309 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 須磨千穎
大久保利謙編『近代史史料』をテキストとして使用し、掲載されている史料を読みながら、幕末～明治中期の経済史・政治史について考究する。
- 5310 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 田原昭四
景気変動の理論と分析
日本経済を中心として、景気変動の理論的考察と実証的分析の方法について研究する。
テキスト：横溝雅夫編『景気循環で読む日本経済』(日本経済新聞社、1991)

- 5311 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 荒井好和
新聞や適当な雑誌・書物を通して、金融の領域で現在起こっている諸問題を概観し整理します(前期)。ついで、いくつかの問題を設定し、グループで問題の分析にあたってもらいます(後期)。この過程で、時論と理論の連携を図りつつ、卒業論文作成の準備ができればと考えています。
- 5312 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 近藤仁
計量経済分析
現実のデータから経済的な仮説を検証する手法を研究すること、およびコンピュータを用いて実証的に分析することが計量経済学の学問領域である。第3年次では、前期に計量経済分析の基礎的理論を修得し、後期にはコンピュータ・ソフトウェア・パッケージ「TSP」を利用した小グループによる実証分析(『経済学生論集』に投稿)を通じて、分析結果の評価方法や実際の分析において生じる問題の解決方法を学習する。
- 5313 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 中矢俊博
ケインズ経済学
ケインズの思想と理論を検討する。
- 5314 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 大谷津晴夫
本演習は社会保障論の入門ゼミなので、まず社会保障制度の概要を知ってもらうことから始める。その中でも医療と年金は特に重要なのでそれらの仕組みの理解に重点を置く。これに関連して『福祉国家の危機』として指摘されている社会保障の拡充が惹起する諸問題にも触れていくつもりでいる。
- 5315 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 渡邊頼純
国際政治経済学演習Ⅰ
現代の国際関係に現象する政治と経済の関連性・リンケージを体系的に分析する。具体的には通商摩擦を題材にして、その発生形態、原因、政治化のプロセス、紛争処理のパターン等を詳細に検討する。
テキストは、①伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』(日本経済新聞社)、②兼光秀郎『国際経済政策—サミット・保護主義・ガットの世界—』(東洋経済新報社)、③Robert Gilpin, *The Political Economy of International Relations*, Princeton University Press, 1987を順に輪読する。前期に関連図書の本評論文(8,000字程度)、後期に卒業論文の計画書(文献目録を含む)の提出をアサインメントとする方針である。

5316 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 山田正次
国際経済学

国際経済学の分野の内で、本年度は特に為替レートを中心とした国際金融に関する文献を研究する。応用分野として、現代の国際経済問題も検討していきたい。

教科書：P. R. クルグマン& M. オブズフェルド (著) 石井その他 (訳)『国際経済Ⅱ国際マクロ経済学』(新世社、1990)

5401 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 花井敏
各自の選択したテーマについて、研究報告と共同討議を重ね、卒業論文を作成する。

5402 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 松山昌司
三年次に決定した各自のテーマに即し、卒論作成にむけて、個別発表、討論および指導。

5403 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 水谷重秋
厚生経済学

演習内容：卒業論文の個別指導。

演習の進め方：あらかじめ決めた順番にしたがって、毎時間2人ずつ卒業論文の内容を発表していく。

5404 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 森茂也
三年次での研究方法の理解と分析視角を基礎に、各人が自由に選んだ卒業論文の研究発表とその討論で授業をすすめる。普通は三年次の終り、ないし四年次のはじめに提出する「卒業論文」を完成させる形となる。時間の配分により、二・三の基本的ないし現代的文献を読む予定である。

5405 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 村松久良光
労働経済学
論文指導。

5406 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 織田重治
各自の選択したテーマについて、研究報告と共同討議を重ね、卒業論文を作成する。

5407 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 櫻井健吾
卒論発表。

- 5408 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 末重正行
演習Ⅲの理解の上に、各自の選んだテーマ(例えば財政制度、租税各論、公債、政府支出、財政政策など)について個別的な研究報告とそれにもとづく共同討議を行ない、卒業論文の作成を指導する。
- 5409 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 杉山俊治
経済政策論
経済政策に関し各自の選んだテーマについて個別的な研究報告を求め、共同討議を行ない、卒業論文作成を指導する。
- 5410 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 須磨千穎
前期は、演習Ⅲに引続いて『近代史史料』をテキストとし、明治前半期の政治史・経済史について考究する。後期は各自が決めたテーマに関する個別報告を求め、卒業論文作成のための準備をおこなう。
- 5411 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 田原昭四
景気変動の実証分析
景気変動に関連して各自が選定したテーマについて、共同討議と卒業論文作成を指導する。
- 5412 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 荒井好和
卒業論文作成のための発表および指導。
- 5413 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 近藤仁
計量経済学のより一層の理論的研究を追求するとともに、実際の分析において生じる問題を解決する方法を学習し、充実した卒業論文を作成する。
- 5414 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 中矢俊博
各自が選んだテーマについて、研究報告ならびに共同討議を行い、それに基づいた卒業論文の指導を行う。
- 5415 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 渡邊頼純
国際政治経済学演習Ⅱ
Robert Gilpin, *The Political Economy of International Relations*, Princeton University Press, 1987を引き続き輪読する。
卒業論文作成の準備としては、前期末までに参考文献について書評論文(文献サーベイ)をまとめることを課題とする。

5416 演習Ⅳおよび卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 山田 正 次
国際経済の分野で各自の選んだテーマについて、報告と討論を中心に卒業論文作成の指導を行う。

5501 経済学史 (選・3・4年次・4単位・通年) 森 茂 也
経済学史方法論から始め、主として英国古典派の経済成長論を中心に、経済学の系譜を講じる。

講義は各時代の経済学を内在的にとらえつつ、近代および現代の経済学のもつ限界・問題点を自覚して、現代の視点から過去の経済学の評価を行うことを通じて古典を現代に生かす道を模索する。

使用テキスト：森茂也『古典派経済成長論の基本構造』(同文館、1992)(南山大学経済研究叢書)

5502 計量経済学 (選・3・4年次・4単位・通年) 近 藤 仁
経済理論により構成されたモデルが、現実の経済をどの程度説明しているかという問題に対しては、観測された経済諸変数のデータを基礎に、統計的手法を駆使して実証的分析を与えることが必要である。このための分析手法について講義する。さらに、コンピュータを利用して、各自の持つテーマに関する実証分析も実施する予定である。講義内容の詳細については、『経済学研究の手引』の「計量経済学」の項を参照されたいが、統計学の知識の有無は履修の条件とはしない。

テキスト：伴・中村・跡田『エコノメトリックス』(有斐閣、1988)

5503 経済変動論 (選・3・4年次・4単位・通年) 田 原 昭 四
経済成長と景気変動
経済成長および景気変動についての理論、政策、歴史を論述するとともに、日本経済および世界経済における景気変動の実証的分析を取り上げる。

5504 厚生経済学 (選・3・4年次・4単位・通年) 水 谷 重 秋
環境経済学

テキスト：植田和弘他『環境経済学』(有斐閣、1991)

内容：第Ⅰ部 環境経済論

- 第1章 環境経済論の課題
- 第2章 物質代謝論アプローチ
- 第3章 環境資源論アプローチ
- 第4章 外部不経済論アプローチ
- 第5章 社会的費用論アプローチ
- 第6章 経済体制論アプローチ

第Ⅱ部 環境政策論

第7章 GNPと環境保全

第8章 費用便益分析

第9章 経済政策の目標と手段

第10章 社会経済構造と環境政策

第11章 環境保全をめぐる法と経済

第12章 不確実性下の環境政策

第13章 持続的発展と国際環境政策

5508 近代経済学史 (選・3・4年次・4単位・通年) 中矢俊博
ケインズ経済学入門

諸君等も知っているように、我々の住んでいる社会は資本主義社会です。ですから、様々な市場の働きを重視し、各主体の自律的な働きを尊重して経済生活等を営んでいるわけです。しかし、様々な要請から、政府の役割が非常に大きい社会でもあります。政府の「やるべきこと」をはっきりと認識し、理論づけた人がケインズだったと言うことは、ご存じの通りです。ケインズは、我々の考え方を変えました。

本年度は、そのケインズが作ったケインズ経済学が、どのように生成した発展してきたか、その思想的背景はどこにあるのかを、時代文脈を重視しながら、次に示す項目の順で講じたいと思います。

1. はじめに
2. ケインズの生涯
3. ケインズ経済学の考え方
4. ケインズ経済学の革新性
5. 現代の経済学者の評価

教科書：マーク・ブローグ著『基本テキスト②ケインズ経済学入門』（東洋経済新報社、1991）

5521 国際経済学 (選・3・4年次・4単位・通年) 山田正次

国際経済学の基礎論を講義し、カレントな国際経済問題をも適宜取り上げる。主な内容として、(1)国際収支、(2)為替レート、(3)比較生産費、(4)H O理論、(5)交易条件、(6)国民所得と国際収支、(7)貿易政策、(8)国際資本移動、(9)内外均衡達成策

5522 地域経済論 (選・3・4年次・4単位・通年) 松繁寿和

毎日、『日経』の国際面を読む

国際経済のしくみと(国ごとの)特徴と国々相互の関係を理解することをめざす。各人が興味をもった国を選びその国の経済の変化と今後の予想を全員毎月1回発表する。単位取得にはこの月1回の発表に加えて以下のことが課せられる。

1. 5月、「経済政策とその効果」についての試験
 2. 6月、「貿易と為替」についての試験
 3. 9月、選択した国の上半期の経済の動きに関するレポート（A4 4枚程度）
 4. 1月、選択した国の下半期の経済の動きに関するレポート（A4 4枚程度）
- ただし、これらを行えば単位が得られるわけではない。成績は発表の内容、レポートの内容と試験の成績にもとづいて決める。

授業は経済の基礎知識の修得と継続的かつ十分な準備が要求される。したがって消化するにはかなりの努力がいるが、結果には相応な評価でするつもりである。

（参考：過去この授業における成績は、C以上が登録者の約40%、A以上が約30%であった。）

5523 開発経済学（選・3・4年次・4単位・通年） 林 尚志

本講義のねらいは、以下の二点である。

- (1) “Development Economics” と言われている分野でのこれまでの研究成果をふまえながら、今日“開発途上国”と呼ばれる国々がかかえている経済、社会問題を整理、理解すること。
- ② これらの国々がそれらの問題を解決し、持続可能な成長、発展を実現するために必要な“開発戦略”を考察すること。

より具体的には、農村における貧困、都市における失業等の国内問題、ならびに、一次産品を主要輸出品とする貿易に潜む問題等を取り上げ、その解決を目指して各国がどのような工業化戦略を採用してきたかを分析する。また、時間が許せば、具体例として近年成長の著しいシンガポール、タイ等の成功の軌跡を追うとともに、わが国を含めた先進工業国が果たすべき経済協力のあり方を考察して行きたい。

参考文献：渡辺利夫、足立文彦著『図説アジア経済』（日本評論社、1992）

高木保興著『開発経済学』（有斐閣、1992）

5525 国際経済関係論（選・3・4年次・4単位・通年） 織田重治

第二次大戦後における世界経済の諸問題を国際政治との関連でとらえる。主な内容は(1)国際社会の構造と原理、(2)世界システムの過去と現在、そして将来、(3)国際機構（国連、IMF、GATT、EC）(4)中東と石油など地域研究。

5527 国際経済学特殊講義（選・3・4年次・4単位・通年） 堀 晃明

「外国為替と国際金融」

前期においては、実社会において役に立つ外国為替実務の説明を中心にして適宜外国為替相場変動に関連したカレントトピックスを交えながら講義を行なう。後期においては変動相場制下における外国為替相場を理解する上で必要な国際通貨制度の歴史を辿り、また戦後世界的な資金市場に発達したユーロ市場についても触れる

こととする。

5529 国際経済学特殊講義 (選・3・4年次・4単位・通年) 渡邊 頼 純
「EC経済論」

マルチラテラリズムとリジョナリズム

欧州共同体(EC)の制度上の仕組み、政策決定過程等につき歴史的背景を踏まえつつ解説する。対外通商政策や共通農業政策に重点を置くが、その際特に現在進められている単一市場化の内容に言及すると共に、域外諸国ないしはガット(関税貿易一般協定)に具現されているマルチラテラリズムに対するインパクトを詳細に分析する。

参考文献：久保広正著『EC「統合市場」のすべて』(日本経済新聞社、1989)

小室程夫著『EC通商法ハンドブッカーヨーロッパ保護貿易主義の構造—』(東洋経済、1988)

テキスト：Allan M. Williams, *The European Community*, Blackwell, 1991.

5541 経済政策論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 杉山 俊 治

経済政策論の方法論的問題、経済政策思想の展開、経済政策の主体と政策形成、市場と政府の役割について論述ののち、現代の主要な経済政策の課題を各論的に取りあげる。テキストとして主として下記書物を用いるが、他の参考文献をその都度指示する。

テキスト：新庄・山口・九谷・足立(編)、『現代経済政策論入門』(有斐閣ブックス、1991)(1992年度までとは中心とするテキストが変わっているので注意のこと。)

なお、経済学部以外からの受講者は「経済学」または「経済原論」をすでに履修していることが望ましい。

5542 財政学 (選・3・4年次・4単位・通年) 末重 正 行

政府の経済活動である財政を、1. 政府支出、2. 租税収入、3. 財政の経済安定化の側面から論ずる。経済学部以外からの受講者は「経済学」または「経済原論」を履修していることが望ましい。

5543 金融論 (選・3・4年次・4単位・通年) 荒井 好 和

各経済主体の金融行動、金融市場の機能と役割、貨幣供給のメカニズムと金融政策、相互依存関係と国際金融市場などを中心に、金融の基礎理論について学ぶ予定です。

テキスト：千田純一・梶山孝金編『金融論入門』(中央経済社、1993)

- 5546 労働経済学 (選・3・4年次・4単位・通年) 村松久良光
日本の仕事の仕組みをどうとらえるか。仕事能力の形成から光を当て、国際比較から日本の特徴を浮き彫りにしている下記の本をテキストにして、賃金のきめ方や職場の仕組みなどの資料を追加しながら講義をする。
テキスト：小池和男『仕事の経済学』（東洋経済新報社、1991）必ず買うこと。
講義内容：1. さまざまな労働者グループ 2. 「年功賃金」の吟味 3. 「終身雇用」の吟味 4. 大企業労働者のキャリア 5. 知的熟練 6. 解雇と失業 7. 日本方式の海外通用性 8. 大卒ホワイトカラーなど。
講義のやり方：板書よりも質疑応答を重視し、ほぼ毎週意見を書いてもらう。
評価：定期試験と授業への参加度。

- 5547 経済政策特殊講義 (選・3・4年次・4単位・通年) 大谷津晴夫
「福祉国家論」
福祉国家体制がかかえる様々な問題に光をあて、それらがどういう性質のもので、どういうメカニズムで発生してくるのかを探る。講義では以下のようなテーマに論及する。
(1)「市場の失敗」と社会政策
(2)公共財の供給と政治システム
(3)政治システムの正当性問題
(4)政治システムの「セー法則」
(5)効率と公正
(6)「政府の失敗」と統治不能
(7)福祉国家の危機
(8)制御問題

- 5550 時事英語 1、2 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 廣田里子
5551 JAPAN TIMES を読みこなす
時事英語の初歩から始めて、最終的には JAPAN TIMES の政治・経済記事が自由に読みこなせるようになることを目指す。6月初めまでは、テキストを使用し、基礎固めをする。それ以降は、徐々に英文記事を導入する。始めのうちは日本語の記事を併用し、日本語の語法をも修得するように努める。2学期には、英文記事ができるだけ多読するが、文法や表現の形式についての解説にも留意するつもりである。また、辞書の使い方も再確認する予定である。毎日NHKテレビなどで日本語のニュースを聞き、時事問題の常識と表現方法を身につけておくことが求められる。時事英語 1・2 は同一内容である。

- 5561 経済史総論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 前期 櫻井健吾
後期 須磨千穎

〔前期〕

- I. 経済史への入門的序説：人類史における産業革命の意義、経済成長・工業化などの概念の解明など。
- II. 人口と工業化：個別テーマとして。

〔後期〕

日本経済史の研究が近代的な学問として成立するまでの過程とその後の発達の様相について、近代日本の経済史とも関連させながら述べる。

- 5562 日本経済史 (選・3・4年次・4単位・通年) 須磨千穎
江戸時代の経済史について講述。幕藩制社会の基本構造、諸産業の発展の様相、商品経済の展開、幕藩制の崩壊に至る諸要因とその過程など。

- 5563 西洋経済史 (選・3・4年次・4単位・通年) 櫻井健吾
テーマ：人口史・都市史を中心とした中世から現代までの西洋経済史。

- 5584 経済思想史 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 橋本昭一

19世紀のイギリス、ドイツ、フランス等の経済思想の展開を中心に講述する。ただし経済思想の流れを理解するために、2～3回の時間を使って、古代・中世・近世の経済思想も簡単に説明する。経済学が独立の科学として、他の生活部面と切り離されて考察されるようになったのは、19世紀も半ば過ぎのことである。

イギリス古典派経済学、なかんずくアダム・スミスは経済学の独立に大きな影響を与えたと言われてはいるが彼の『国富論』(1776)では、今日において経済学の対象とは見做されていない多くの事柄が論じられている。

純粋科学としての経済学体系は、1870年代の「限界革命」以後に現れるといって過言ではない。しかし、19世紀の経済学研究者は、純粋理論の歴史的概述ではしばしば見落とされているが、人間の向上や人間社会の制度的改革についても多く発言している。経済生活が人間生活の一部であり、しかも目的達成の手段(調達)の部面を扱うものである限り、何のための生産性の上昇か、何のための分配の公平かは忘れることのできない考察対象である。このような観点から、イギリス古典派の崩壊から限界革命を経てケインズ経済学が登場するまでの期間の英・独・仏の経済思想の変遷を概説する。テキスト：橋本昭一編『近代経済学の形成と展開』(昭和堂)

- 5585 経済体制論 (選・3・4年次・4単位・通年) 家本博一
旧ソ連邦・東欧諸国における社会主義建設の挫折と「脱社会主義」改革の可能性——政治・経済体制の根本的な変革過程への基本的な視座を求めて——

【内容】

- (1) 経済体制の基本構造と経済体制論の現代的課題
- (2) 「ロシア革命」以降の現代社会主義の成立・展開過程とその基本性格
——「正統性」の変質から危機、崩壊へ——
- (3) 「脱社会主義」の展開過程とその基本方向
——市場経済制度への移行・変革過程の特徴と問題点——

【テキスト】

* ヤン・ヴィニェツキ著、福田巨・家本博一・永合位行訳『ソ連型経済はなぜ破綻したか』（第三刷）（多賀出版、1992）

【その他】

- (1) 随時、講義要旨と関連資料を配布する。
- (2) 適宜、講義内容に関連する視聴覚資料を使用する。

5586 価値の経済学特殊講義（選・3・4年次・4単位・夏期集中）

「体制転換の政治経済学」

福田 敏 浩

20世紀末は体制転換の時代である。社会主義は、いま、資本主義への移行を開始している。本講義ではこの事件を題材にして体制転換の実相を価値・体制・政策の三面から把握してみたい。講義の内容は以下のごとくである。

1. 体制転換の前史
2. 社会主義の失敗
3. ペレストロイカと東欧革命
4. 中欧諸国の体制転換政策
5. 体制転換の政治経済学の提唱

教科書：福田敏浩『現代の経済体制論』（晃洋書房、1990）

参考書：野尻・丹羽・福田・嵐田『ひとつのドラマの終り—共産主義の倒壊—』（晃洋書房、1991）

5591 経済数学（選・2・3・4年次・4単位・通年） 皆 川 正

数学そのものより経済学への適用という観点から、経済学を理解する上で必要な数学的分析手法を解説する。内容は微積分が中心になる。

5601 外書講読（英書）（選・2・3・4年次・4単位・通年） 松 山 昌 司

人間が生きてゆくことのできる環境を維持保存してゆくために、経済学は何をすることができたしなければならぬか。この関心からつぎの文献所収の論文数篇を適当に選び講読してゆく。

Robert Costanza (ed), *Ecological Economics : The Science and Management of Sustainability*, 1991, Columbia University Press.

たとえば

(1)K. E. Boulding, “What do we want to sustain ? : Environmentalism and Human Evaluation”.

(2)S. O. Funtowicz, “A New Scientific Methodology for Global Environmental Issues”.

5602 外書講読(英書)(選・2・3・4年次・4単位・通年) 皆川 正
経済学に関する英語のテキスト(未定)を選んで、それらを輪読する。

5603 外書講読(英書)(選・2・3・4年次・4単位・通年) 程島次郎
いくつかの雑誌、書物から日本の経済や企業経営に関係する記事などを一年間にわたり多読する。予定している雑誌としては、Economist などがある。

5615 外書講読(仏書)(選・2・3・4年次・4単位・通年) 渡邊頼純
フランス語で学ぶ国際政治
国連公用語としても重要なステータスを与えられているフランス語を用いて国際関係の経済的側面を中心に学習する。基本的な語句に親しむ為に、B. Cresson, *Introduction du francais économique*, Didier をテキストとして使用する。
オーディオ・テープやビデオ等を用いてできるだけ平易で楽しく学べる授業にする意向なので、フランス語を第二外国語として選択した経済学徒にたくさん受講してもらいたい。

5616 外書講読(独書)(選・2・3・4年次・4単位・通年) 大谷津晴夫
テキスト: Eduard Heimann, *Soziale Theorie des Kapitalismus*. Theorie der Sozialpolitik, 1929.
ドイツの社会政策論の古典に属する上掲書の中から社会政策の機能に論及した部分を適宜拾いあげて、資本主義と社会政策の関係を学んでいく。
テキストはこちらで用意する。

5621 経済学英語講義(選・2・3・4年次・4単位・通年) 花井敏
「ビデオで学ぶ経済英語」
経済・ビジネス関係の英語文献を読みこなすための糸口を与えること、これが本講義の目的である。今年は、書物だけではなく、他の媒体(ビデオなど)を積極的に使った講義を考えている。できるだけ小クラスにしたいので、英語に興味ある学生だけに対象を絞りたい。

5622 経済学英語講義 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 渡邊 頼 純

「Introduction to International Political Economy」

This course is designed to provide the students with basic knowledge on the functioning of the international economic system. The key principles under which the system operates shall be carefully examined throughout the course work. Those principles include, inter alia, MFN (most-favoured-nation treatment), national treatment and reciprocity. The international economic organizations to be focused are following; GATT, IMF/IBRD (World Bank), UNCTAD, OECD. The movement of economic regionalism, the making of European Single Market in particular, shall also be subject for discussion.

Students are requested to be present at the class regularly and an active participation on the part of students is essential for the effective conduct of this course.

Reference Books : Joseph S. Nye jr. *Bound to Lead The Changing Nature of American Power*, Basic Books, 1990. J. Bhagwati, *Protectionism*, The MIT Press, 1988. J. Bhagwati & H. Patrigh, *Aggressive Unilateralism, America's 301 trade policy and the world trading system*, 1990. J. Schott, *Completing the Uruguay Round*, Institute for International Economics, 1990.

Relevant articles in *The Economist* are to be frequently used for reading.

5623 経済学英語講義 (選・2・3・4年次・4単位・通年) S. Prue

「Economics Lecture」

This course will be based on *Anatomy of Japan, The Wellsprings of Economic Power*. Videos will be shown in English. Discussion will be in English. Lecture will be in English. Key issues in the class will cover : Postwar Japan, the Japanese economy in transition, the shacho, the company man, MITI, small Japanese companies, quality control, testing Japanese management, foreign companies in Japan, and the economic future for Japan. Written assignments will be given in every class and will be an important part of the grade received.

5661 ビジネス英語 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 奥野 賢 造

アメリカで出版された国際取引の入門書を教材として使い、国際取引の基礎を英語で習得する。併せて、

1. 副教材の貿易実務書によって、生きた実務面からの貿易英語を、

2. もう一冊の副教材によって、生きた取引上の英文手紙の書き方を、
3. 更に大手商社の実在する契約書や英語の新聞・雑誌などから実用の英語を、習得する。履修後には、たとえばロンドンのデパートに直接手紙を書いて買物をするなどの身近な実利も期待出来る筈。

主要教科書：MacMillan 社刊 *BUSINESS, International Trade*

副教科書：日経文庫『貿易の実務』、『ビジネスマンのための英文手紙の書き方』

5662 ビジネス英語 (選・2・3・4年次・4単位・通年) S. Prue

During this course we will study conversational English as it is used in business and daily life. Particular attention will be given to vocabulary of business words and phrases and using them in writing. The class will be taught in English. There will be written assignments that will be an important part of the final grade. All discussion will be in English.

5663 ビジネス英語 (選・2・3・4年次・4単位・前期〔週2回〕)

N. Caroll

During this series of classes we will study English as it is used in modern business situations. Particular attention will be given to letter-writing and the use of the telephone. We will also look at the correct ways to make reports, write fax messages and fill forms.

Students will be presented with a number of simulations and studies through which they will be introduced to a variety of business practices.

5811 会計原理 1、2 (選・1・2・3・4年次・4単位・通年)

白木俊彦

この講義では、企業を取り巻く利害関係者に提供する財務諸表が、どのような会計の仕組みにより作成されているかについて解説していく。財務諸表の見方を理解することは、企業経営の基本であり、経済を学ぶ者にとっても基礎といえよう。

講義では、財務諸表作成技術である簿記と会計理論とを有機的に関連づけながら、具体的に、しかも現実の状況とも触れながら論述していく。

講義の進め方として、学生諸君の理解度を確認しながら進行していくが、授業に欠席すると次の内容が理解できなくなるので注意してほしい。

テキスト等、詳細については、授業の中で指示していく。

5821 財務会計論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 藤井達敬

企業の財務公開の柱は損益計算書、貸借対照表であるが、これらの財務諸表作成

の基本的理論を講ずる。下記のテキストを使用して、企業内容開示制度、企業会計の職能、企業会計原則における諸原則といった会計学の基礎理論と現在の企業利益測定の構造的理論（費用・収益の対応、費用の期間帰属、取得原価主義、発生主義や実現主義等々の考え方）を学んだ上で、貸借対照表会計、損益計算書会計をとり上げ、個別の会計問題に言及していく。さらに、インフレーション会計、資金会計、リース会計といった現在、財務会計でトピックになっている事柄についても講じていくつもりである。

テキスト：新井清光著『新版財務会計論』〈第2版〉（中央経済社）

5835 民法 I 1 （選・2・3・4年次・4単位・通年） 柳澤秀吉

民法の総則編（1条から174条ノ2まで）と物権編（175条から398条ノ22まで）の規定を中心とした概説を行なう。

経済学部では、法律科目としては商法などを理解しておけば十分であるとされるが、商法なども民法の理解を当然の前提としてできているので、この科目が設けられていること、つまり民法は基礎的な法とされていることを理解されたい。

講義の進め方などは最初の講義のときに説明する。

テキスト：未定。

5836 民法 I 2 （選・2・3・4年次・4単位・通年） 本城武雄

民法という語は市民法の訳語より出たもので、国民相互間の生活を規律する基礎的な一般普通法である。私人としての国民生活は、財貨を取得し利用する財産生活と、夫婦親子の家庭生活とがある。そこで民法典は財産法（第1・2・3編）と身分法（第4・5編）を定めているが、法学を専攻としない学部では財産法のみを二つに分けて、I総則・物権とII債権（総論・各論）とするのが普通である。本講義でもそれにしたがうが、家族法を全く無視するのも適当でないので、総則の自然人のところで親族にもふれ、物件の変動のところで相続にもふれることとして担保物件は民法（II）の方へまわすことにする。そこで本講は「人と財産」を主題として、市民生活の基本的共通規則を研究するが、まず、その法律関係の主体（自然人と法人）とは何か、その客体（動産・不動産・無体財産）とは何か、その法律関係の変動などを講述する。

テキスト：本城等共同編著『民法と現代社会』（嵯峨野書院）

参考書：追って指示する。

5841 オペレーションズ・リサーチ概論 I （選・2・3・4年次・2単位・前期）

澤木勝茂

企業における種々の意思決定のための手法とモデルについて平易に解説する入門コースである。問題解決のための数学的方法と仕事の手順についてのアイデアを

理解してもらうように工夫したいと考えている。内容は次のとおりである。

- (1) 線形計画法とその応用
- (2) 在庫管理
- (3) 動的計画法
- (4) 意思決定分析とゲームの理論

テキスト：小和田・加藤・沢木『OR入門——意思決定の基礎』実教出版

5842 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅱ（選・2・3・4年次・2単位・後期）

澤木 勝 茂

前期のオペレーションズ・リサーチ概論Ⅰにひきつづき、次のテーマについて講義する。

- (1) PERTとCPM
- (2) 待ち行列の理論
- (3) 非線形計画法と確率計画法

前期のⅠでは確定的モデルが中心であったが、後期は確率の入ったモデルと手法について説明する。テキストは前期と同じ。

5845 民法Ⅱ（選・3・4年次・4単位・通年）

松 倉 耕 作

民法のうち債権関係を中心として講述する。保証や担保など、きわめて実生活と近い事柄を扱うので、関心をもって聞いてもらいたい。

5851 商法Ⅰ（選・3・4年次・4単位・通年）

篠 田 四 郎

企業法総論ならびに有価証券法

この講義は企業法総論と手形・小切手法を中心とする有価証券法を対象とする。すなわち、商法上の企業の特徴・組織（商号、商業帳簿、使用人等）、運送業者や倉庫業者等の補助商、企業活動を規律する商法の特色などを企業法総論として講義する。また、わが国においては取引決済の手段として手形・小切手が用いられることを考慮して、手形法・小切手法についても概説する。

講義は講義録によって行われる。

5855 商法Ⅱ（選・3・4年次・4単位・通年）

篠 田 四 郎

会社法

商法Ⅱは会社法を対象とする。会社とりわけ株式会社は、わが国の資本主義体制を支える基盤であるといえる。わが国にあって最も重要な株式会社について、その意義、設立、株式、機関（総会・取締役会・監査役）、資本調達（新株発行・社債発行）、企業結合（M & A）、国際会社の順に講義する。

講義は講義録とテキスト（後に提示する）に従って進める。

5861 労働法 (選・3・4年次・4単位・通年) 平川 亮一

その1、秋の就職試験で採用内定を受けた者が、卒業直前になって採用内定の取消を受けた。労働契約の違反ではないのか。大日本印刷事件(最高裁判決昭54年7月20日)は、これが裁判になったものである。

その2、昭和60年、プロ野球の選手達が労働組合を作った。巨人の中畑が組合長になり阪神の掛布や大洋の遠藤などが役員となった。なぜ、組合が出来たのか。

☆ ☆

労働法は、このような現実の問題が課題となる。

- ① 日本や世界の労働者保護の制度や歴史について学ぶ。
- ② 「労働基準法」を勉強し、労働契約、労働時間、賃金、などについて具体的な問題を考える。
- ③ 「労働組合法」を勉強し、労働組合、労働運動の保障はどうなっているかを学ぶことになる。
- ④ 仕事のない者の労働の権利はどうなっているのか。職業安定法など。

☆ ☆

労働法は、パンのための学問でなく、人間の尊厳を考える学問であることを学んでもらいたい。

テキスト：市松・宮崎・平川 共著『現代労働法』(中央経済社)

5871 行政法 (選・3・4年次・4単位・通年) 市橋 克哉

国や地方公共団体など行政をめぐる法現象は、国民・住民の日常生活に密接な関連をもつものになっている。このような状況の中で、今日、行政法学は、憲法の諸原則と現代的要請という2つの課題への対応という視角から、新しい体系づくりに取り組んでいる。本講では、この問題意識に基づいて、行政法の基本原則と概念の見直しを行う。

教科書：室井力編『現代行政法入門(1)〔新版第2版〕』(法律文化社)

参考書：室井力編『資料現代行政法1』(法律文化社)

5881 現代産業事情 (自・3・4年次・2単位・前期・後期) 並木 友
5882

「損害保険事情」

現代社会において損害保険は、企業・団体・個人の諸活動に不可欠な役割を果たすとともに金融界における影響力を増しつつある。また世界の損害保険マーケットにおける日本の地位向上も目覚ましいものがある。

本講座では下記諸点を中心として損害保険の実務・実態をベースにその理論と連結させ、損害保険事業に対する正しい認識を習得しようとする。

- (1) その原理、仕組み、機能を、法律学、経済学、経営学等の視点から多角的な

アプローチを行う。

- (2) 日本損害保険業界の現状分析と主要商品について研究および役割を検証する。
- (3) 金融業界における損害保険の地位と資産運用の現状および将来を展望する。
- (4) 国際化の現状と世界の損害保険市場の研究を行う。

配布資料：『日本の損害保険ファクトブック』（1990年版、日本損害保険協会）

テキスト：『図説 日本の損害保険』（大蔵省銀行局保険2課長編 財経詳報社）

参考書：『損害保険読本（第3版）』（長崎正造、高木秀卓編 東洋経済新報社）

5883 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期） 奥野賢造

「総合商社事情」

国際化の先兵として日本の経済発展に大きな貢献をして来た総合商社の活動を学ぶ。

具体的には

- (1) 総合商社の発生・発展の歴史、その間における商社機能の進化・複合化の軌跡、現在の総合商社が直面している諸問題について検討
 - (2) 更に、商社の内部での仕事の具体的な流れや、海外駐在員の生活の実際などにも触れ
 - (3) ケース・スタディとして商社の経営上の問題の分析や、外から講師を招いての実際のプロジェクトの生々しい体験談など（数多くのビデオ併用）
- 種々異なった角度から総合商社の実体を解明する。
- 最初の時間にレジメと資料を配布し、それに沿って授業を進める。

5885 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期） 榎本幸一

「自動車産業事情」

自動車産業は、主な先進国において基幹産業と位置づけられている。また近年は、新興生産国の台頭も著しい。

世界の自動車産業の歴史・現状・将来展望をクテ軸に、市場、マーケティング、生産、輸出と海外生産、社会・環境問題と技術開発、産業構造など自動車産業の諸課題について論ずる。

5887 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期） 若林直樹

「電機産業事情」

エレクトロニクス産業論

一般に、エレクトロニクス産業とは、電子機器、電機機器、通信機器、電子計算

機、電子部品、冷凍空調機器など、きわめて多岐に亘る機器やシステムに関与しており、それぞれに独自の業界を形成している。これらを一括して、可能な限り包括的に、過去と将来について、その歴史的推移、並びに主力商品の成長のプロセス等、特に戦後に重点をおいた“業界の実証的回顧”を、産業論のガイダンスとしてこれを解説する。次いで、日本経済の将来に大きく貢献するであろうと期待されている、エレクトロニクス産業の“今日の課題”更には、その産業構造や市場構造、貿易摩擦や海外工場進出等の、現実的な各論にまで発展すべきであろうと考える。したがって主として、時系列的に業界を回顧することによって、業界先人の業績を検証した上で、業界が生成発展してきたプロセスを正しく認識し、将来に向けて内包している諸々の課題を取り上げることによって、エレクトロニクス産業の過去と将来に亘って、学生諸兄の一層の理解を深める努力をしたい。

テキスト：「家電産業・成長の軌跡」電波新聞社 若林直樹著

5889 現代産業事情 (自・3・4年次・2単位・前期・後期) 高木夏樹

5890 「都市銀行事情」

現代銀行証券論

最近の都市銀行の収益構造、変化する経営環境、広がる銀行の業務分野と新戦略などをできるだけ最近時点で研究する。また、都市銀行以外の証券や信託銀行、長期信用銀行など他の銀行、およびノンバンクといった都市銀行の競争相手の金融機関についても検討を加えたい。

参考書：講義の途中で随時紹介するが、受講生の理解を助けるために、できるだけ新しい図書を教科書として採用する予定。

配布資料：レジュメ、最新の統計などを講義に際して配布する。

5901・5902

経済原論演習(経済原論Ⅰ) 1、2 (随・2・3・4年次・2単位・前期)

5911・5912

経済原論演習(経済原論Ⅱ) 1、2 (随・2・3・4年次・2単位・後期)

中川裕司

藤本正富

本演習は「経済原論Ⅰ、Ⅱ」の講義を補強するためのものであり、主として練習問題を解くことを通じて講義で学んだ理論をより確実に身につけることを目的とする。「経済原論Ⅰ、Ⅱ」の試験に合格したい人は努めて本演習を受講することが望ましい。また公務員試験の受験をめざす人にも有益と考えられる。

6104 経営学総論 (選・2・3・4年次・4単位・前期+夏期集中)

岸田民樹

経営とは、ヒト、モノ、カネおよび情報を、一定の意味をもった「組織」へと編成することである。この編成の方法が、分化（水平的分業と垂直的分業）と統合（階層+水平的関係）であり、この両者のバランスによって、さまざまな経営形態が現出することになる。基本的な経営形態について、その歴史的な生成および現代における諸問題を、実例を交じえながら明らかにする。

教科書：岸田民樹『経営組織と環境適応』（三嶺書房、1985）

6116 経営労務論1 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 藤原道夫

経営労務は経営内部におけるヒトの問題を取り扱う領域である。採用から始まり、教育・訓練、配置、処遇などに関わっている。このような人事・労務管理の職能はスタッフ部門である人事・労務部だけでなくラインの管理者も持っている。

本講義ではスタッフである人事・労務部に重点を置くが、「ヒトが経営の内部で働くことに関わる諸問題」を理解できるように、経営労務を解説する予定である。

講義の内容は次のとおりである。

- (1) 経営の発展と人事労務管理職能の発達
- (2) 現代企業における人事労務管理
- (3) 人事労務管理と行動科学理論
- (4) 人事労務管理の環境条件
- (5) 人事労務管理の施策領域
 - A. 従業員の経営への参加
 - B. 経営内での人的資源の流れ
採用、教育・訓練、異動、昇進
 - C. 動機づけと報酬の体系
 - D. 作業組織の設計
職務特性モデルと社会・技術システム
- (6) 企業戦略と人事戦略
- (7) 現代日本企業が直面している経営労務上の課題

テキスト：津田他著『人事労務管理』ミネルヴァ書房（近刊）

6117 経営労務論2 (選・2・3・4年次・4単位・前期〔週2回〕)

大津誠

アメリカの大学で使用されている経営労務論の中級テキストを使用し、企業の人事・労務の諸問題について日米比較の観点から考察する。主なトピックは以下の通り。人員計画、採用、雇用平等、人事考課、賃金管理、能力開発、キャリア開発、労使関係、国際労務。これらの考察を通じて日本の多国籍企業が海外（主として北

米)でどのような人事政策を展開すればよいかについても言及する。授業は日本語で行われるが教科書は英語であるため、ある程度の英語読解力が要求される。

テキスト：Gary Dessler, *Personnel/Human Resource Management (5th ed.)*, Prentice Hall, 1991

6121 経営史 (選・3・4年次・4単位・通年) 和田 一夫

現代社会において大企業が果たす役割、またその及ぼす影響力は極めて大きい。その大企業がどのようにして生成し、発展してきたかを本講義では扱う。特に大企業生成の母国とでもいえるアメリカと、世界で初めて産業革命を達成したにもかかわらず大企業成立に遅れをとったイギリスを主に対象として、最初は講義を進める。その上で、第二次世界大戦後の日本の企業が急激な成長についても考えたい。現代の日本と世界の経済・企業を考える歴史的視点を受講生が獲得する手助けができればと考えている。日本の経営史について理解が不十分と思うものは、別に開講されている「経営学特殊問題(日本経営史)」を受講すること。

講義のおおまかな年間の予定は次のようである。

1. 序論：講義の対象と目的
2. 現代世界経済の概観：歴史的観点から
3. 伝統的企業の成立：産業革命とその影響
4. 現代企業の成立と発展
 - (1) 現代企業とは何か
 - (2) 現代企業成立の基盤
 - (3) アメリカにおける現代企業の成立
 - (4) イギリスにおける現代企業の成立：アメリカとの比較
 - (5) 日本における現代企業の成立
5. 現代企業の新局面：戦後における日本企業の躍進を中心にして
6. 展 望

講義中に参考文献についてはふれるが、テキストは特に指定しない。ただし、以下の2冊は経営史の必読文献である。

1. A. D. チャンドラー著、鳥羽・小林訳『経営者の時代』上・下(東洋経済新報社、1979)
2. A. D. チャンドラー著、三菱経済研究所訳『経営戦略と組織』(実業之日本社、1967)

他の文献については、「経営史」[『経営学ガイドブック』(第二版)]の参考文献が一応の参考になろう。

6126 企業論 (選・3・4年次・4単位・通年) 成生 達彦

ミクロ経済理論を用いて、企業の内部組織、垂直的取引関係および寡古企業間で

の（水平的）競争関係について検討する。講義で扱う topics は次のとおりである。

- 1) ミクロ経済理論
 - ・不確実性下の意思決定と情報の経済学
 - ・エージェンシー理論
- 2) 内部組織の経済理論
- 3) デイラー—メーカー—サプライヤー関係（自動車産業を例として）
- 4) 競争戦略（R & D、広告、製品多角化戦略等）

6131 経営財務論 1（選・3・4年次・4単位・通年） 飯原 慶雄

経営財務論は企業が必要とする資金の調達と調達された資金の適切な運用を問題とする。これらの問題の解決のためには将来の不確実な現金流あるいは所得流の評価が中心課題となる。このような考え方に立って、割引計算、資本資産評価モデル、オプション評価モデル、裁定評価理論、モジリニア・ミラー定理、効率的資本市場論について検討し、これら理論の企業財務への応用について考察する。

参考書：飯原『投資決定論』（日本経済評論社）

諸井『経営財務講義（第2版）』（東大出版）

6132 経営財務論 2（英語）（選・3・4年次・4単位・後期〔週2回〕）

M. Bremer

This course will explore the tools and concepts of corporate finance. Specific topics covered will include risk, return, cost of capital and capital budgeting. The course will also examine financing decisions, market efficiency, dividend policy, capital structure, working capital policy, valuation of the firm and the market for corporate control. Students will be required to read business periodicals and to keep up with current events in business and economics.

Likely Textbook : Lawrence Gitman, *Principles of Managerial Finance*.

6136 マーケティング論（選・3・4年次・4単位・隔週） 中田 善啓

企業のマーケティング行動を基礎から説明していく。現実に行われているマーケティングの事例をとりあげながら、マーケティングの基本概念を講義する。またマーケティングが社会に与える影響を説明し、成熟化時代のマーケティングを考える。

テキスト 中田善啓『マーケティング戦略と競争』（同文館、1992）

参考文献 中田善啓『マーケティングと組織間関係』（同文館、1991）

中田・成生・丸山編『マーケティングのニューウェーブ』（同文館、1991）

6201 経営組織論 (選2・3・4年次・4単位・通年) 渡邊直登

前期は経営組織におけるさまざまな管理思想について、歴史的な脈絡を配慮しながら、それぞれの特色について講義を行う。主な内容としては、官僚制論、科学的管理論、人間関係論、行動科学的管理論、経営参加の思想などを扱う。

後期は経営組織の実態と組織の構造について講義を行う。経営組織は産業化の進展と共に変化してきており、現代企業の経営組織には以前見られなかったような特徴も見られるようになった。また同時に、経営組織として変わらずに有しているような原理もある。

このような点に留意して講義を行うが、主な内容は経営組織の構造、技術と経営組織、企業戦略と経営組織、組織開発などである。

参考書：津田真澄著『人事労務管理の思想』（有斐閣新書）

6305 情報処理概論 (Basic) 1 (選・3・4年次・4単位・通年)

6306

2

村本正生

学習しやすいプログラミング言語の一つである Basic を取り上げ、プログラミングの基礎を学ぶ。Basic の全体像をとらえた後、Basic に備わっている基本関数を利用して問題解決（文字処理、統計処理など）を行う。同時に、事務機器を利用していろいろな仕事をするための橋渡しをする。

6307 情報処理概論 (Fortran) (選・3・4年次・4単位・夏期集中)

井垣伸子

利用者の立場から、コンピュータに対する理解あるいは自信を深めたい学生、コンピュータに興味をもてるようになりたい学生を対象に、FORTRAN プログラミングを中心とする情報処理を概説する。

この講義の目的は、次の3つである。

- (1) コンピュータの操作に慣れること
- (2) コンピュータに関するいろいろな概念を掴むこと
- (3) プログラミングの基本的なテクニックを修得すること

受講者には、無味乾燥なルールの山を汗と涙で乗り越えて、プログラミングの面白さを味わうレベルまで是非到達して欲しいと思う。

6308 情報処理概論 (Cobol) (選・3・4年次・4単位・通年)

山田進

(パソコンコボルと演習)

COBOL によるプログラミングを初心者を前提に、パソコン (PC9801) を使用して演習中心に学習する。

主な学習項目は、次のようなことである。

- ・MS-DOS とパソコン操作の基本
- ・簡単なプログラミング作成 (DISPLAY, ACCEPT)
- ・4つの DIVISION とデータ定義
- ・制御論理と演算処理 (PERFORM, IF THEN ELSE, COMPUTE)
- ・COBOL に於けるファイル処理
- ・帳票出力の基本処理 (印刷編集、頭書き、改頁)
- ・簡単な統計表の作成
- ・テーブル索引とその応用
- ・ファイルマッチング

* 授業運営、機器施設の制約から受講者を50名程度に限定する。
登録する学生は、最後まで学習する意欲のある学生に限る。

6309 情報処理概論 (Pascal) (選・3・4年次・4単位・通年)

村本正生

Pascal は、チューリッヒ工科大学 (スイス) の Wirth 教授が設計したプログラミング言語である。この言語は、系統的にプログラムを設計したり、アルゴリズムを記述したりするのに適している。プログラミングを初めて学ぶ人にも容易に理解でき、プログラミングの本質を習得するのにも適していると高く評価されている。本講義では、プログラミングに関して未経験でも理解できるレベルから始める。計算機の基本的な概念を学び、小さなプログラムから次第に大きなプログラムを作ることへと進めていく。

1803 日本史概説 (自・3・4年次・4単位・通年)
文学部開設共通自由科目 1803「日本史概説」参照。

新井喜久夫

1804 世界史概説 (自・3・4年次・4単位・通年)
文学部開設共通自由科目 1804「世界史概説」参照。

R. Szimpl

1834 法学概論 (自・3・4年次・4単位・通年)
文学部開設共通自由科目1834「法学概論」参照。

岡田泉
中倉寛樹

6901 職業指導 (自・3・4年次・4単位・通年)
6902
経営学科 6116、6117「職業指導」参照。

藤原道夫
大津誠